

## 平成30年度 小学校算数移行措置について

日本文教出版株式会社

日頃は、弊社発行の小学校算数教科書「小学算数」をご使用いただきまして誠にありがとうございます。さて、本年3月に文部科学省から告示されました新しい学習指導要領に基づく教科書は、小学校では平成32年4月から使用開始となります。それに先立ちまして、平成30年度、平成31年度の2年間において、新課程の内容の一部を前倒しして取り入れる移行措置を実施することが文部科学省から公示されています。算数科におきましては、平成30年度、次の表に示した点にご留意の上、ご指導いただきますようお願い申し上げます。なお、平成31年度の移行措置に関しましては、改めてご案内申し上げます。

## 平成30年度 移行措置

対象学年	移行措置	留意事項														
第1, 第2, 第5, 第6 学年	なし	・追加, 省略する内容はありません。														
第3 学年	接頭語 (キロ(k)やミリ(m)) についても触れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書3年下巻88ページの学習までに、1000倍について触れる。 一例として、教科書3年上巻90, 91ページで、10倍, 100倍の後に1000倍まで拡張しておく。</li> <li>・教科書3年下巻88ページで、既習の単位について振り返り、その関係について整理してまとめる際に、単位の前に接頭語「k」が付くと、1000倍になることなどの理解を深める。</li> </ul>														
第4 学年	接頭語 (キロ(k)やミリ(m)) についても触れる。  面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書4年下巻50, 51ページの学習までに、接頭語について取り扱う。 一例として、教科書4年上巻80ページで、mとkm, gとkgを扱う際に、単位の前に接頭語「k」が付くと、1000倍になることなどの理解を深める。</li> <li>・教科書4年下巻50, 51ページの学習で大きな面積の単位を扱う際に、正方形の1辺の長さとの関係から、長さの単位と面積の単位の間に関係があることへの理解を深める。</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tbody> <tr> <td>正方形の1辺</td> <td>1 cm</td> <td>1 m</td> <td>10m</td> <td>100m</td> <td>1 km</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">正方形の面積</td> <td rowspan="2">1 cm<sup>2</sup></td> <td rowspan="2">1 m<sup>2</sup></td> <td>1 a</td> <td>1 ha</td> <td rowspan="2">1 km<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>(100m<sup>2</sup>)</td> <td>(10000m<sup>2</sup>)</td> </tr> </tbody> </table>	正方形の1辺	1 cm	1 m	10m	100m	1 km	正方形の面積	1 cm <sup>2</sup>	1 m <sup>2</sup>	1 a	1 ha	1 km <sup>2</sup>	(100m <sup>2</sup> )	(10000m <sup>2</sup> )
正方形の1辺	1 cm	1 m	10m	100m	1 km											
正方形の面積	1 cm <sup>2</sup>	1 m <sup>2</sup>	1 a	1 ha	1 km <sup>2</sup>											
			(100m <sup>2</sup> )	(10000m <sup>2</sup> )												

この内容についてのお問い合わせ先 編集部直通 06-6695-2090